

第26回例会

松沢成文神奈川県知事を迎えて

■ 日 時 平成22年6月7日（月）午後5時30分～7時20分 ■ 会 場 ロワジュールホテル厚木



第1部は、柏木貞俊理事による開会宣言で、第26回例会が開催されました。司会進行は、瀬戸 誠理事と井 寛明幹事が務め、当初の参加予定人数120名を大きく上回る約170名もの方々のご参加をいただきました。まず、大泉政治会長による挨拶のあと、小林

常良厚木市長、長塚幾子伊勢原市長、古谷義幸秦野市長から、それぞれ御挨拶をいただきました。

セレモニーの中で、青年会の発足が発表され、青年会サポーター役の会員増強委員会副委員長の金澤 平氏から今年の秋を目指して「青年会」が正式に発足されるという報告がありました。すでにメンバーとして確認済みの10名の方々が壇上にあがり、代表して大泉秀治氏より、「青年会の活動は、まずできることから進めていき、当面は地元の大学生・高校生とわれわれ企業との就職あっせんなど、若者の目線できるとのこと、気づいたことを取り上げていきたい」との力強い挨拶がありました。

例会行事は、松沢成文神奈川県知事による講演が、「県央地域の未来像について」というテーマで行われました。内容については、その概略が次ページ以降にあります。我々県央経営者会のメンバーにとって非常に興味ある情報が満載で、時折ユーモアを交えた役に立つお話でした。講演は約40分の予定でしたが、最後に知事の最近の取り組みである「受動喫煙防止条例」についての話があり、最新刊の著書『それでもタバコを吸いますか?』の宣伝もあり、10分程度の時間オーバーとなりました。

第2部では、まず県央経営者会5年の歩みを映像化したDVDが流され、「懇談会」が開始されました。この「懇談会」は、県央経営者会から3委員会の委員長が出て、現在の活動状況と知事への質問を交えた発表が行われました。このときの内容については、別掲の「各委員長の発表内容」に詳細がありますのでご覧ください。「懇談会」は、一般参加者からの質問も受ける予定でしたが、時間の関係でできませんでした。最後に、本田久米子理事が閉会宣言をして無事例会は終了しました。



青年会の発足の発表



挨拶する古谷秦野市長



会場は会員で満席



知事に質問する吉村委員長

県央経営者会第26回例会 特別講演 神奈川県知事 松沢 成文

第一部 「県央地域の未来像について」



神奈川県の産業は、明治期以来ずっと日本全体の産業を引っ張ってきました。戦後の高度経済成長期を支えてきたのも神奈川県産の産業です。しかし、私が知事になったころ、神奈川県産の企業が県外や海外に出て行ってしまう、神奈川県でも産業の空洞化が始まっています。そこで私は「インベスト神奈川」という施策を打ち出しました。これは主に研究開発分野の企業を支援することを目的にした制度で、この5年間で130社の企業が神奈川県にやってきました。そのうち、県が助成を行った施設のおよそ3分の2が研究開発の機能を持った施設です。

このように、県央地域に研究開発関係の企業施設が建設されたのは、この地域が将来発展する可能性があるからであり、同時に自然環境との共生という生活環境の良さが重視されたからに他ならないと考えています。

1. 交通体系の整備・鉄道の場合

では、この地域の将来性をさらに高めるために何が必要か、それを考えていきたいと思えます。まず第1に、交通体系の整備・モビリティを高めることが大切である。ということで、先日私は国土交通省に行きリニア新幹線のプレゼンテーションをしました。リニア新幹線の事業主体となるJR東海は、各県に駅を1つずつ作りたい。神奈川県では、相模原市の地域内に作りたいが、首都圏との関係で全面的に地下駅となる。その場合、費用が2,200億円かかるが、すべて地元で負担してほしい、と言っている。これは地上駅に比べてあまりにも巨額で限界があること、県で全負担は難しいと申し上げた。もうひとつ、東海道新幹線の駅構想、倉見に新駅を作りたい、もし新駅が実現すれば、リニアの新駅もできる限り協力する。すなわち、リニア新幹線と従来の新幹線の両方の両立を認めてほしいという交渉を行ってきました。

東海道新幹線の「のぞみ」の機能がリニアに行き、従来の新幹線のダイヤにはゆとりが出てくるので、これでもうやく倉見新駅の可能性が出てきました。東海道新幹線の駅ができれば、県央地域にとっては南のゲートとなり、リニアの新駅ができれば北のゲートとなる。この2つのゲートにJR相模線がつなげれば、当然のことながら、JR相模線は複線化を進めざるを得ず、2つの地域にアクセスする新しい鉄道体系が出来上がる。そのほか、湘南台駅から倉見まで新線を作ろうという話が検討されています。

もうひとつ、小田急線が多摩線を通って相模原まで延ばす。あるいは、上溝まで延ばしたらさらに相模川を渡って愛川まで延ばす、などという案が検討されています。しかし、今後の課題として、人口が減り続けている現在、新線を作るには膨大な費用がかかります。その場合、上下分離案でいかざるをえないかもしれません。すなわち、路線は地元がお金を集めて作り、その上の経営を鉄道会社に任せるといったやり方です。

2. 交通体系の整備・道路の問題

道路を作ることは、排気ガスをまき散らすから反対だという意見もあります。しかし、大都市圏の中では道路のネットワークを作らなければ、全体の活性化に結びつかないのも確かです。首都圏はまだこのネットワークが完成できていない。例えば、東名の渋滞解消のために作り始めた第二東名が途中で止まっている。

圏央道、第二東名、246バイパスを開通させ、首都圏のネットワークを完成させることが大切です。また、綾瀬のインターを早く作ることも大切です。このインターはスマートインター（小さなインター）を設置する予定です。これらのネットワークが完成すると、県央地域は関東地域全体にアクセスできる最も立地の良い地域になります。

3. 街づくりについて

県央・県北・湘南を貫く大きなランドスケープといえば、相模川を見直して、街づくりに利用できないかということ。「相模川サミット」で検討しています。相模川の両岸が発展できるようにするには、橋を作る必要があります。これは単なる車だけが走れる橋ではなく、だれでもが使えるものでなくてはならない。

この考え方は、ツイシティの考え方と同じで、川の両岸にまちを作って、環境共生都市を作ろうと考えています。新しい時代に向けた環境共生都市をどう作り上げるか、大学の先生方をお願いして検討しています。皆さんの提言にもあるように、相模川を交通の利便性向上に使えるか、川の両岸の有効利用ができないか、などいろいろの可能性があります。これから考えていきたい。

4. 「受動喫煙防止条例」について

日本は、「たばこ規制枠組み条約」の加盟国として第19番目の批准国になっています。その日本が、国としてなぜ法律で規制の制定ができないのか。国がやらないのなら神奈川県からやろうと考えました。実は、たばこは副流煙の方が有害物質が多い。すなわち受動喫煙の方が害が大きいのです。小泉改革はやり方が急進的で反発が大きかったです。あまりにも敵を作ってしまったので、結果が出ていない。だから私はそうした手法を取らなかった。徹底して反対派の人と議論をしました。そして「受動喫煙防止条例」は妥協案かもしれないが、みんなで作った条例だから守っていくという姿勢になっています。今では規制対象外となったお店でも協力し始めています。

「神奈川県」は「先進力」と「協働力」だと言っていますが、官と民の協働、みんなが力を合わせて連携していくことに価値があると考えています。(一)

第2部 懇談会「知事と話そう」

懇談会では、県央経営者会の3つの委員会の活動報告を各委員長が発表し、松沢知事のコメントをいただくという趣旨で行われました。松沢知事からは、様々なアイデアやアドバイスを頂きました。以下に3委員長の発表報告を掲載します。

1. 交通アクセス向上検討委員会委員長

吉村 保典氏

この委員会は、県央経営者会の大きな柱として県央地域の交通の利便性を高めることから出発しました。前回、海老名の例会で（第17回例会、平成20年9月）、知事から県央地域の交通アクセスがさらに向上すれば、この地域はこれから必ず発展するとのお話をいただきました。

交通アクセス委員会で現在取り組んでいる問題は、一つは小田急の急行電車にグリーン車をテスト的につけられないかということをお願いしていること。もう一つは、新幹線小田原駅に「ひかり号」の常時停車を働きかけていこう。という二つのテーマを持って活動しております。知事の御考えをお聞かせ下さい。

2. 県央湘南アクアシティ構想検討委員会委員長

増田 健治氏

昨年、県央経営者会発足5周年を記念して、「県央湘南未来都市『アイデアコンテスト』」を開催いたしました。そこで市民の方から56作品、アイデアにして約170件ものアイデアをいただきました。これらの詳細な分析はまだできておりませんが、やはり交通の利便性向上と相模川の環境向上のためのアイデアが半分以上を占めております。これらのアイデアの中から、県央経営者会では「すぐに実行できるもの」と「実現には相当時間がかかるもの」に分けて検討して街づくりの構想に生かしていきたいと考えております。

ここで紹介いたしますのは、「すぐに実行できるもの」の中から、相模川の土手に花を植えて景観を向上させる、というアイデアを実現するため、地域の自治会や漁業協同組合連合会、商工会議所、商店会連合会、県の土木事務所、厚木市の河川ふれあい課などに声をかけをして、御協力をお願いいたしました。その結果、今年の3月には相模川の堤防法面の80メー

トルにわたり、バラの苗約170株を植栽いたしました。

この事業には多くの方々非常に積極的にご協力いただき、さらに今後第2期、第3期の工事を継続して推進していく予定です。この3期にわたる工事が完了した暁には、相模川の土手一面がバラの花で埋まり、地域の皆さんの憩いの場所として、また他地域から大勢の観光客が観賞に訪れる事が期待されます。ぜひ松沢知事もバラの花の咲いた相模川をご覧いただきたいと思っております。

3. ビジネスマッチング委員会委員長

末澤 広子氏

ビジネスマッチング委員会は、まだ生まれればかりの委員会で、これから本格的に活動していくことになりませんが、基本的には会員相互の協力関係を高めるために何ができるか、また新たな事業の展開の手助けとして何かできることはないか、を研究していきたいと考えております。

そうした取り組みの中で、現在進行しているものがあります。それは、「ロボット研究開発拠点都市」構想というものです。この構想も昨年の「アイデアコンテスト」に出されたアイデアで、すでにこの構想に取り組んでいるグループからの提案でした。地方分権や地域主権とすむ時代背景のなかで、今後各地域の主体性や地域産業の確立などが大きな要因となってくるものと考えられます。

次に、このアイデアの概要についてお話させていただきます。県央地域には幸いにして、神奈川工科大学があり、福祉ロボット研究の第一人者であります。山本圭治郎先生が在職しておられ、産学協同体としての企業メンバーを求めておられます。一方で、県央経営者会のメンバーの中に機械加工や電子部品製造など、多くの業種の方々がおられるし、七沢のリハビリセンターは全国でも有数のリハビリ施設です。このように、県央地域は、まさに産学協力体制が整った地域であるということが出来ます。

従いまして、今後ロボット製造のためにどのような業種の協力が必要かなど、会員会社と協力して、事業として成功するよう研究していきたいと考えております。

相模鉄道株式会社訪問



去る5月24日（月）大泉会長、吉村副会長、飯田副会長、福島事務局長の4名で相模鉄道（株）本社を訪問しました。当日は、経営管理部経営企画担当課長の鈴木昭彦氏が対応していただき、相模鉄道としては、当方の意向を引き継ぎ検討している感じでしたが、今後の対応がどうなるかは県央経営者会の働き掛けいかんではないかと感じました。

松沢知事を表敬訪問

■平成22年7月7日（水）於：神奈川県庁知事室

訪問者：大泉会長・長谷川副会長・北村幹事長・福島事務局長

6月7日の例会において、松沢知事に講演していただいたお礼を兼ねて、表記4名で県庁に松沢知事を訪問しました。この面談は、大変タイトなスケジュールの合間を縫って、知事に何とか都合をつけていただき実現いたしました。当初は10分程度との約束でしたが、話が弾んでしまい予定時間をだいぶオーバーしてしまいました。知事には先日の例会での続きとなる、相模川のバラ植栽の件を話しましたところ、川だけでなく厚木市周辺がバラの街として有名になるのではないかと、非常に関心を持っていただきました。また、福祉ロボットの研究開発拠点都市については、すぐさま県庁内の担当者へ電話をして、県の対応等について説明を聞けるよう手配をしていただき、予想以上の成果を得ることができました。



会員の 会社紹介 掲示板

この掲示板では会員の方の会社を紹介しております。会社案内、イベント案内など何でも掲載OKですので、是非、あなたの会社の情報を発信してみたいかでしょうか！
(掲載無料。ご希望の方は事務局まで)

土地活用 一般建築 住宅 リフォーム

親切

安心

安い

長男
三男
次男

メインキャラクター
サンノウくん三兄弟

www.sanno-ken.co.jp

山王建設 検索

品質管理世界基準 ISO9001 取得

「こんなこと、聞いても大丈夫かなあ」と思ったら

43年
信頼の
実績!!

山王建設株式会社 TEL.046-222-3030

〒243-0812 神奈川県厚木市妻田北 1-12-6

— おかげさまで一周年 —

MINGLE

ATSUMI

ヘアーメイク

メイク

リラクゼーション

美容の事ならずべておまかせください
あなたの街の美容室

〒243-0018 厚木市中町2-8-10金剛ビル
TEL046-224-7681 FAX046-225-9766



■ 場所 奥湯河原温泉 海石榴 (つばき)

第4回懇親旅行 (移動例会・第27回例会)が開催される

8月20日(金)～21日(土)に、第4回目の懇親旅行が、奥湯河原温泉「海石榴」(つばき)で開催され、事務局員を入れて24名の参加者になりました。

「海石榴」は、なんととっても素晴らしい部屋と懐石料理が自慢で、特に我々が泊った「迎賓館」という別館は、有名人のお忍びの宿として有名らしく、一見の価値ありというほどの贅沢な造りの構造となりました。いづれにしても、参加者の皆さんからは、「このような素晴らしい旅館に泊れたこ



島会員あり
がとうござ
いました。

島会員の努力
に対する感
謝するしだ
いです。霜

とは、貴重な体験になった」との一致した感想を聞くことができました。

今回の旅行は、当初予定の山翠楼をさらに上ランクの「海石榴」に変更していただき、ぎりぎりまで旅館側と交渉していただいた、(株)アトランティックツアアの霜島

事務局便り

○次回例会のご案内

第28回例会 ビジネス情報交換会

■ テーマ 『高齢化社会』からビジネスの可能性をさぐる

■ 講演 徳武産業社長 十河 孝男氏

■ 日時 平成22年10月27日(水) 午後5時30分より
(年間計画表では10月25日になっていましたが、講師都合により変更させていただきました)

■ 会場 ロワジールホテル厚木

○ホームページリンクのご案内

県央経営者会のホームページの会員名簿が、会員各社のホームページとリンクするよう設定されました。皆様の会社のホームページを是非ご登録下さい。

(ビジネスマッチング委員会)